

# ふれあいⅡ

学校教育目標

「やさしく かしく たくましく  
自分のよさを生かして  
未来を創ろうとするしゃちっ子」  
の育成

令和7年12月17日 校長 重松 景二

愛でいっぱい、学びでいっぱい、遊びでいっぱいの学校にする

アップデートしよう（未来を創るのは子どもたち）

## 早いもので年末 よいお年をお迎えください…



2025 年は残り2週間となりました。8月の終わりから今日まで、たくさんの行事がありましたし、さまざまな学習もありました。ご準備いただいたものや取り組んでいただいたことがたくさんあったと思います。ご理解とご協力をいただき、ありがとうございました。おかげさまで、教育活動を豊かに



展開することができました。また、学級閉鎖等で急な対応をしていただくこともございました。柔軟にご対応いただき、ありがとうございました。子どもたちは今日が最後の登校日。明日から冬休みです。冬休みは短いですが、楽しいことがいっぱいありそうな3週間です。これまでの学校生活とは気分を切り替えてリフレッシュできるといいですね。新年を迎えますので、どうぞよいお年をお迎えください。

## 来年の附属小を創る 児童会の船出…



11 日曜日、児童会選挙の投票結果が発表されました。学校だよりでは個人の写真や名前は載せていませんので、ご了承ください。今回の選挙で会長・副会長・児童会役員の6名が新たに選ばれました。公約として掲げられたのは、「あいさつあふれる学校にすること」と「個性あふれるスポーツフェスタを開催すること」です。これらの公約実現には壁が立ちはだかることもあるでしょうけど、何とか乗り越えて新しい附属小学校を創ってほしいと思います。

## 人権感覚を 12月10日は世界人権デー…

12月10日の世界人権デーに合わせて、人権集会を行いました。初めに各学級が人権標語の発表を行いました。どの学級もよく考えていて、個性あふれる作品がそろいました。後日、各賞が発表されました。その後担当者から「子どもの権利」をもとに、生きる権利や育つ権利、守られる権利について話がありました。「自分の権利を大切にするのなら、相手の権利を大切にしなければならない」という話や「差別・いじめがあると権利を守ることができない」という内容の話もありました。



最後にハートフル委員会から劇を通じて人権を大切にするメッセージが送られました。この劇では「自分のいいところってどんどこか」というテーマで進められ、「周りを明るくする」「困っている人を助けるやさしさ」「一度決めたら諦めずに頑張る」などのよさが示されました。劇の後、司会者から1分間で自分のよいところを見つけてみようという提案がありました。1分後「発表したい人はいますか」と問いかけると約20人の子が手を挙げました。手が挙がることはたいへん素晴らしいことです。6人が発表して、発表するたびに大きな拍手を送られていました。1人発表するたびに手を挙げる子が増え、最終的には約50人が手を挙げていました。こんなにたくさん手が挙がるのは、附属小学校ならではの光景だなと思いました。

校長賞 ……認め「愛」 心の扉を 開くカギ（6年1組）

教頭賞 ……一人じゃない みんないるから 大丈夫（5年2組）

ハートフル賞 ……ありがとう 感謝のバトンを つなごうよ（5年1組）

先生賞 ……自分らしさは 宝物（2年2組）

児童会賞 ……ずっとずっと大すきだよ だからきょうも みんなであそぼうね（1年2組）